

スカパーJSATグループ
2018年度 第1四半期決算説明会

2018年8月2日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

証券コード:9412

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- システムに関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

第1 四半期連結決算概要

損益概要

- 防衛省向け衛星引渡による売上230億円により、営業収益は216億円(58.0%)増加
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、3.8億円(12.9%)増加

(単位:百万円)

	2017年度 1Q	2018年度 1Q	増減率	通期予想 進捗率	FY2018 通期予想
営業収益	37,195	58,772	58.0%	34.9%	168,500
営業利益	4,334	4,646	7.2%	28.2%	16,500
経常利益	4,535	5,090	12.2%	29.9%	17,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,941	3,321	12.9%	28.9%	11,500
EBITDA ^{*1}	10,942	11,346	3.7%	27.0%	42,000

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

セグメント別連結業績の推移(2017年度 1Q ~ 2018年度 1Q)

- メディア事業は、累計加入件数減少による視聴料収入減少により減収減益
- 宇宙事業は、防衛省向け衛星引渡により増収増益

(単位:百万円)

	2017年度					2018年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
営業収益	37,195	36,525	35,762	36,018	145,501	58,772
メディア事業	27,424	26,828	25,925	25,620	105,798	25,857
宇宙事業	12,524	12,428	12,459	12,987	50,400	35,541
消去又は全社	△2,754	△2,731	△2,622	△2,589	△10,697	△2,626
営業利益	4,334	4,547	3,233	3,536	15,652	4,646
メディア事業	1,005	1,448	239	541	3,233	797
宇宙事業	3,531	3,430	3,034	3,141	13,137	4,034
消去又は全社	△202	△331	△40	△145	△719	△185

2018年7月よりセグメント名称を「宇宙・衛星事業」から、「宇宙事業」に変更いたしました。セグメント別の業績に与える影響はございません。

メディア事業の主要指標^(*)

- 「スカパー！新基本パック複数台無料キャンペーン」により、新規加入件数増加

	2017年度 1Q累計	2018年度 1Q累計	2018年度目標値
新規+再加入件数(万件)	13.0	15.5	53.2
純増数(万件)	△0.6	0.7	△5.2
累計加入件数(万件)	331.4	327.0	321.0
加入者月額支払単価(¥)	3,247	3,207	-
ARPU(¥)	2,063	2,020	-
SAC単価(¥)	37,934	27,064	-

※スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

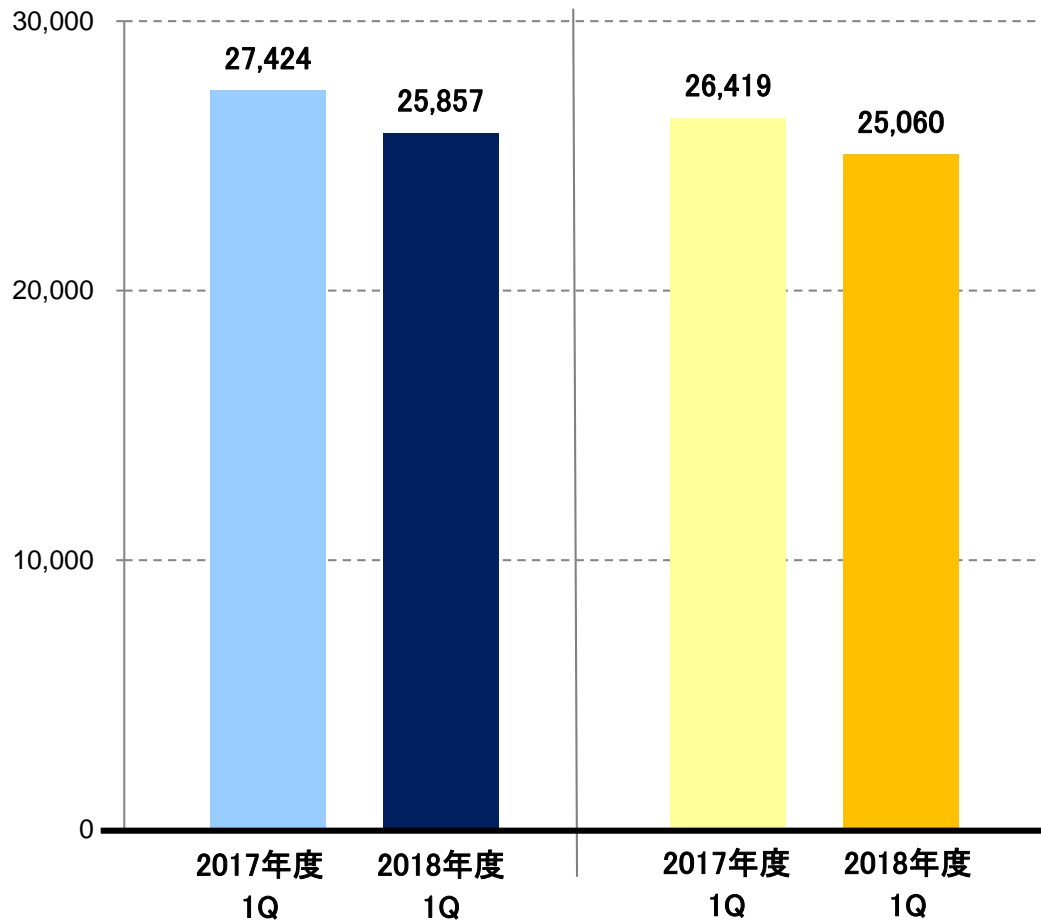
メディア事業の業績概況：前年同期比

メディア事業

営業収益

営業費用

(単位：百万円)



営業収益(▲16億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む

- 視聴料収入の減少：△11億円
- 基本料その他の収入の減少：△5億円

営業費用(▲14億円)*

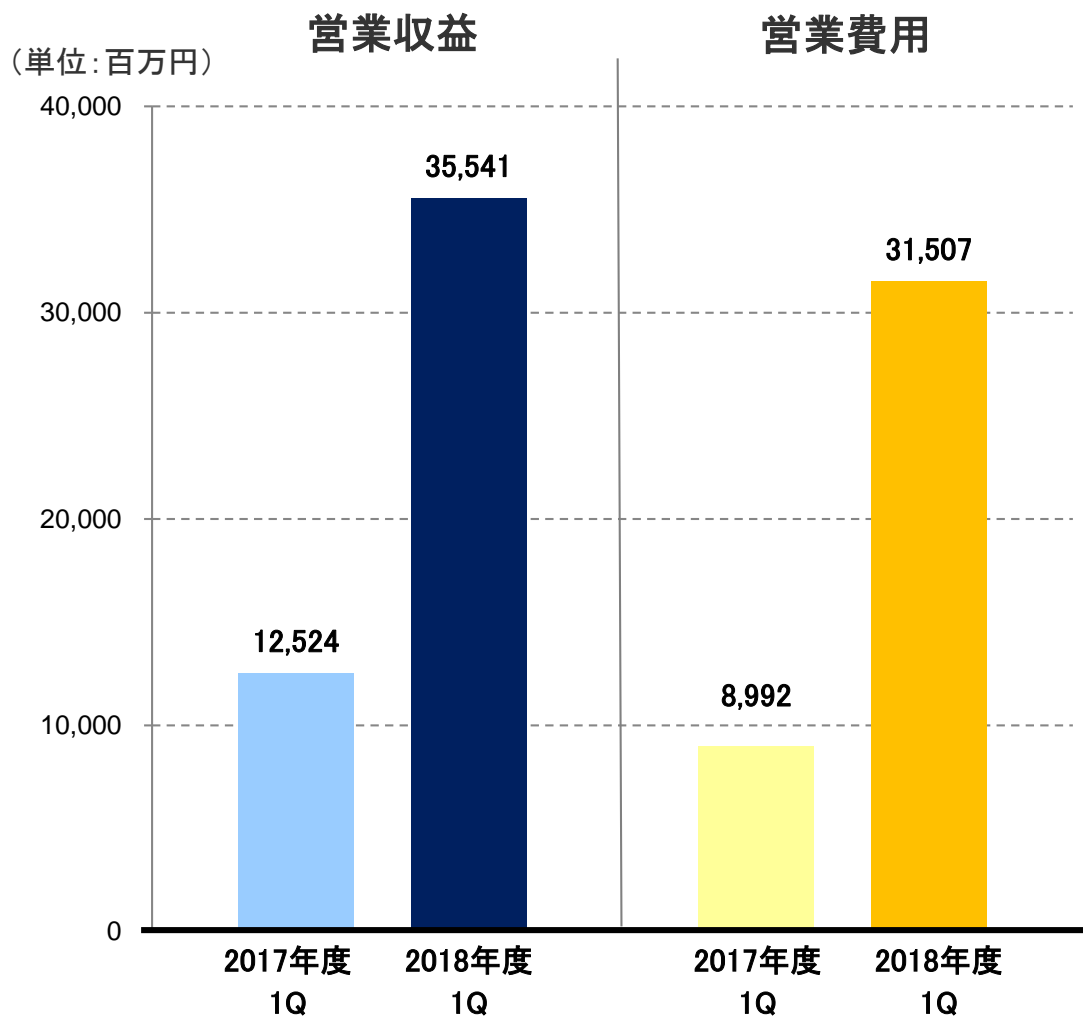
<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む

- 番組供給料の減少：△9億円
- コンテンツ費その他費用の減少：△5億円

宇宙事業の業績概況：前年同期比

宇宙事業



営業収益(+230億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む

- 通信衛星及び関連設備の売却：+230億円
- 放送トランスポンダ収入の減少：△1億円
- その他収入の増加：+1億円

営業費用(+225億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む

- 衛星事業原価等：+227億円
- 減価償却費の減少：△2億円

スカパーJSATグループミッション
事業ビジョン
策定

スカパーJSATグループミッション

Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

Space for your Smileには、私たちの目指す世界が描かれています。

宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、

これらすべてのSpaceが笑顔で満たされるように。

日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、

ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。

宇宙事業ビジョン

宇宙から海洋まで多様なSpaceの開拓 + 宇宙データを活用した事業の創出

宇宙インフラ事業

保有インフラへのフィードバック

スペースインテリジェンス開発

通信事業領域の拡大

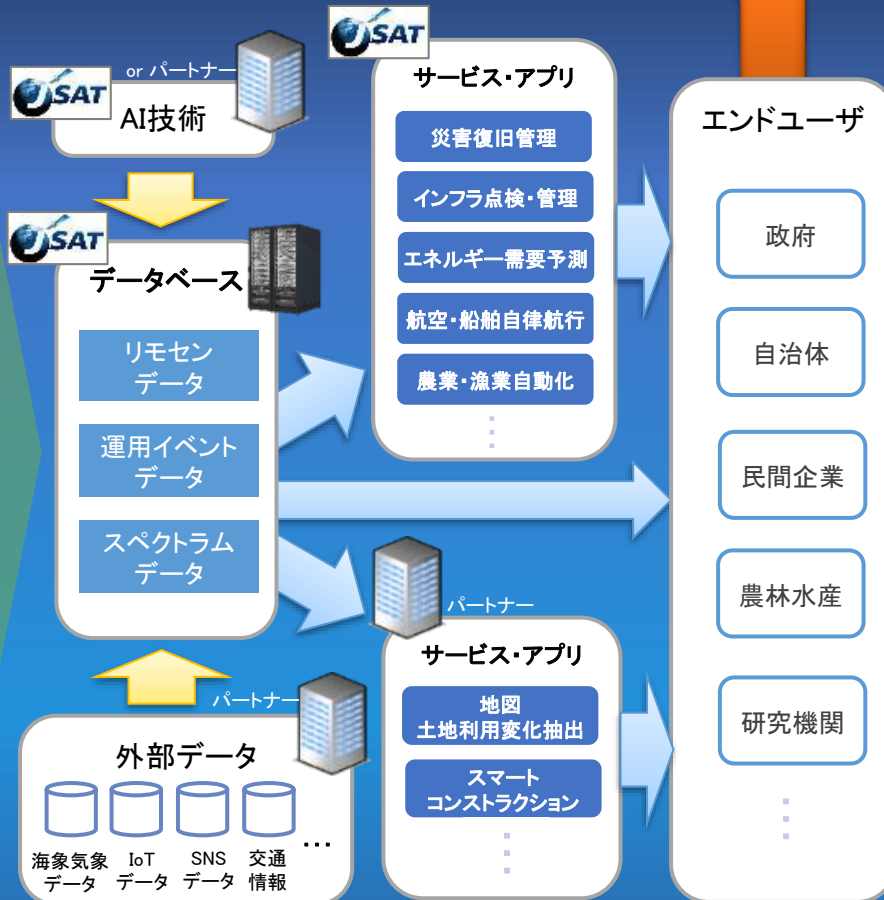


- 宇宙探査用通信
- 測位衛星
- 静止衛星・HTS
光衛星通信
- 低軌道衛星通信
- HAPS通信
- ドローン運航管理
- 地上局サービス
・衛星運用受託
・ゲートウェイ局提供

センシング事業への本格進出

センシング用インフラ保有/運用

- 静止衛星
- 低軌道衛星
- HAPS
- ドローン
- 干渉監視インフラ
- 海洋情報収集インフラ

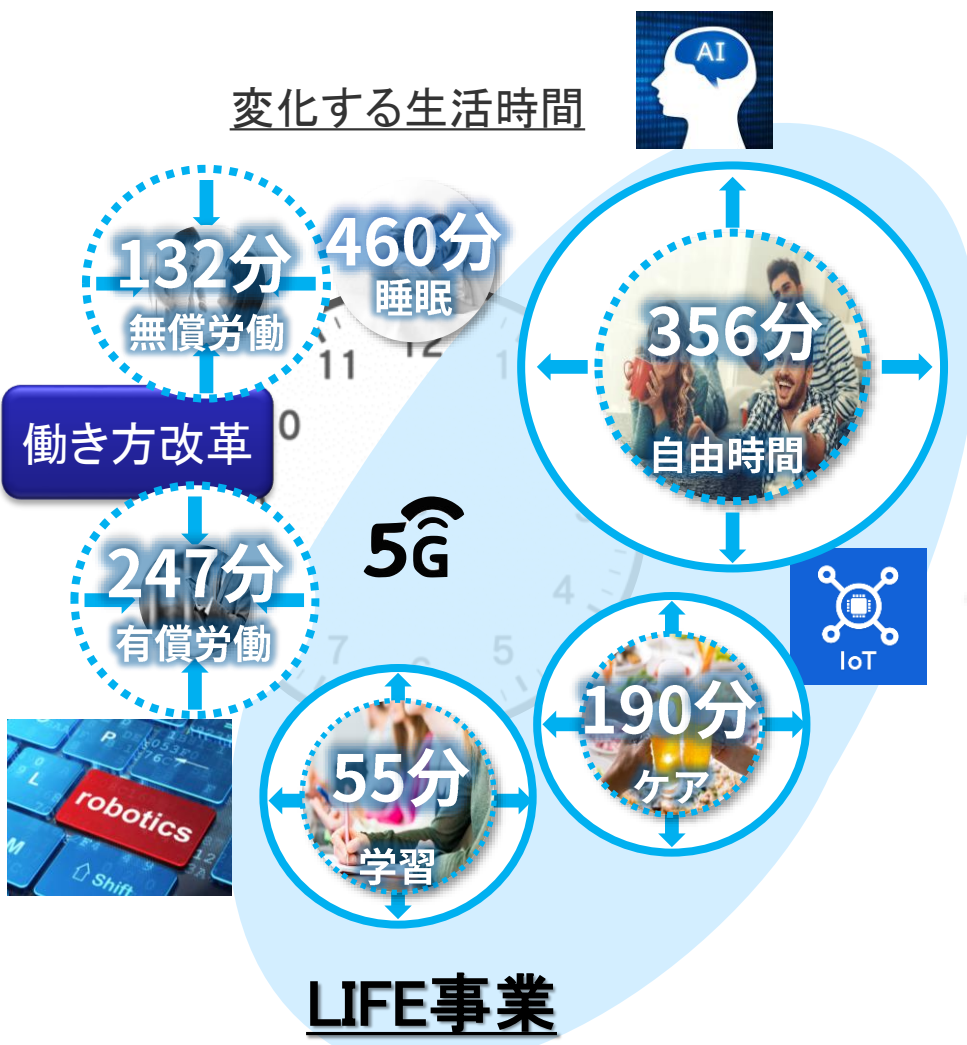


水中ドローン

メディア事業ビジョン

■従来のプラットフォーム事業・コンテンツ事業に加え、
変化する生活時間(Time & Space)に新たなLIFE事業を展開

変化する生活時間



■参照:総務省統計局 平成28年社会生活基本調査
■調査対象:全国10歳以上約20万人

今後の取り組み
～メディア事業～

今後の主なコンテンツ

■ 欧州サッカー開幕

スカパー！サッカーセット他

8/24(金)開幕
ブンデスリーガ1部
全試合独占放送
+
ブンデス2部
ポルトガル・ベルギーリーグ
独占放送

日本人選手の試合を徹底放送!!



■ 音楽

a-nation 2018

独占生中継！ BSスカパー！/MUSIC ON TV!(エムオン！)

8/18(土)他

AAA

GENERATIONS from
EXILE TRIBE

東方神起

浜崎あゆみ など

豪華アーティスト出演！



■ オリジナルアニメ

ムヒョとロージーの魔法律相談事務所

BSスカパー！/アニマックス

8/3(金)START

週刊少年ジャンプ連載
人気コミックを10年の時を経て
ついにアニメ化



©西義之/集英社・ムヒョロジ製作委員会

新たな取り組み①

①光回線を使ったテレビサービスによる新4K8K衛星放送の提供 4K8K放送を3,000万世帯に伝送可能な仕組みを開発

【サービス提供概況】(2018年6月末現在)

□提供エリア : 26都道府県(一部のみ提供含む)

□フレッツ・テレビ提供可能エリアにおける世帯数規模※1
: 約3,000万世帯(全世帯の約60%)

※1 需要に応じた設備投資がNTT東西で別途必要

□契約世帯数 : 約221万世帯

フレッツ・テレビ 約163万世帯

マンションタイプ※2 約58万世帯

※2 スカパーJSATの提供する集合住宅向け再送信テレビサービス



4K8K推進キャラクター 深田恭子

【提供形態】



【提供スケジュール(予定)】

- ・2018年12月 : 新4K8K衛星放送(右旋) 提供開始
- ・2019年夏頃 : 新4K8K衛星放送(左旋) 提供開始

※3 各放送局より再放送同意を得る必要があり、今後各放送局と協議調整してまいります。
提供チャンネルについては調整中です。

新たな取り組み②・③

②株式会社THRee entertainmentの設立



- 音楽ライブコンテンツに関する企画・制作及び国内・海外向けの放送権・配信権の販売

※放送権取得ライブの一例



FUJI ROCK FESTIVAL '18



[ALEXANDROS] VIP PARTY 2018

- スポーツ・音楽におけるファンコミュニケーションアプリの開発提供

海外配信やアプリ開発を担うTHRee社と連携
新規事業 領域への取り組み強化

③Amazonプライム会員向けサービス 「Amazon Prime Videoチャンネル」にて スカパー!コンテンツの提供を開始



- 第1弾として、7月3日(火)より「スカパー!アニメセット for Prime Video」提供開始
価格: 700円(税抜き)



※構成チャンネル:

- ・アニマックス for スカパー!アニメセット
- ・キッズステーション for スカパー!アニメセット
- ・声優専門チャンネルST-X for スカパー!アニメセット
- ・BSスカパー! for スカパー!アニメセット

コンテンツ提供可能領域の拡大を図る

今後の取り組み
～宇宙事業～

低軌道商用電波観測衛星サービスへの参入

SNETは、電波観測衛星を用いた世界初の商用サービスを手掛ける米国宇宙ベンチャーHawkEye³⁶⁰社と、日本における販売代理店契約(一部独占)を締結。陸海空の地理空間情報提供サービスへ参入。

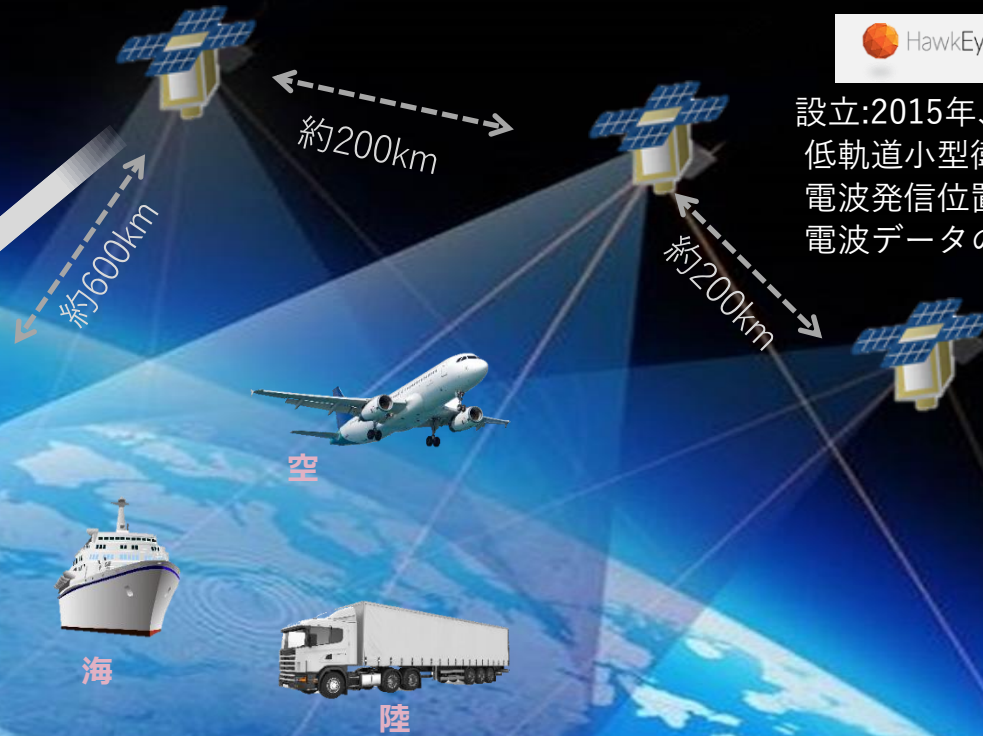
HawkEye³⁶⁰システム

HawkEye³⁶⁰社

設立:2015年、本社:米国バージニア州
低軌道小型衛星を用いた電波監視、
電波発信位置の特定及び収集した
電波データの解析・販売

地上からの電波を受信して、
到達時間及び周波数の変位から
発信位置を特定

AIを使用した発信対象物
(例えば船舶名、航空機名)
及び位置の特定



©HawkEye³⁶⁰



総務省研究開発案件の受託

総務省公募案件「平成30年度 情報通信技術の研究開発に係る提案」における「衛星通信における量子暗号技術※の研究開発」課題について受託。

※量子暗号技術…計算技術が進展しても解読の危険性が無い暗号技術

研究課題

- ① 超小型衛星に搭載可能な量子暗号通信技術
- ② 可搬型光地上局の開発
- ③ 飛しょう体用空間光通信技術
- ④ インテグレーション・航空機等による実証実験

参加企業・団体

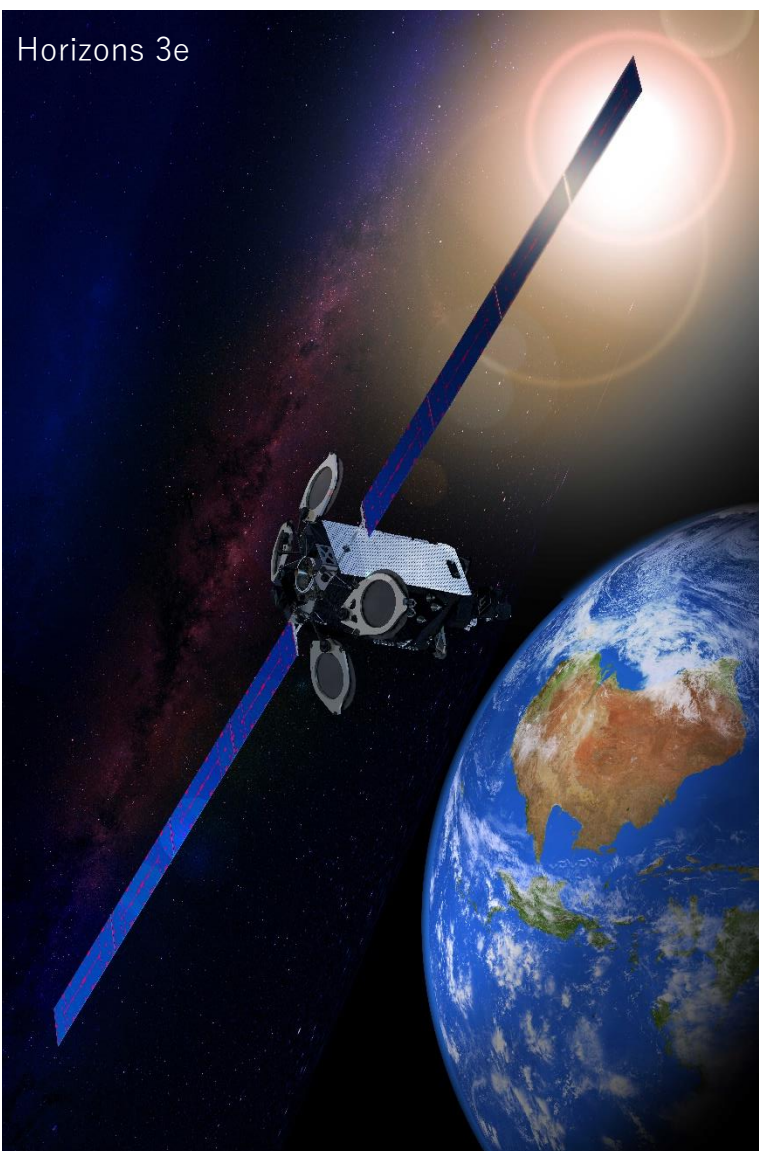
- ・次世代宇宙システム技術研究組合（プライムコントラクター/課題④担当）
- ・情報通信研究機構（課題①～④担当）
- ・東京大学（課題①担当）
- ・ソニーコンピュータサイエンス研究所（課題③担当）
- ・スカパーJSAT（課題②④担当）

研究スケジュール

FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022
航空機-可搬型光地上局間の量子暗号通信技術の開発（全参画機関）				
潜在顧客へのヒアリング、市場動向調査（課題④担当機関）			ビジネスモデル設計（課題④担当機関）	
			標準化に向けたドラフト文書作成（課題①担当機関）	



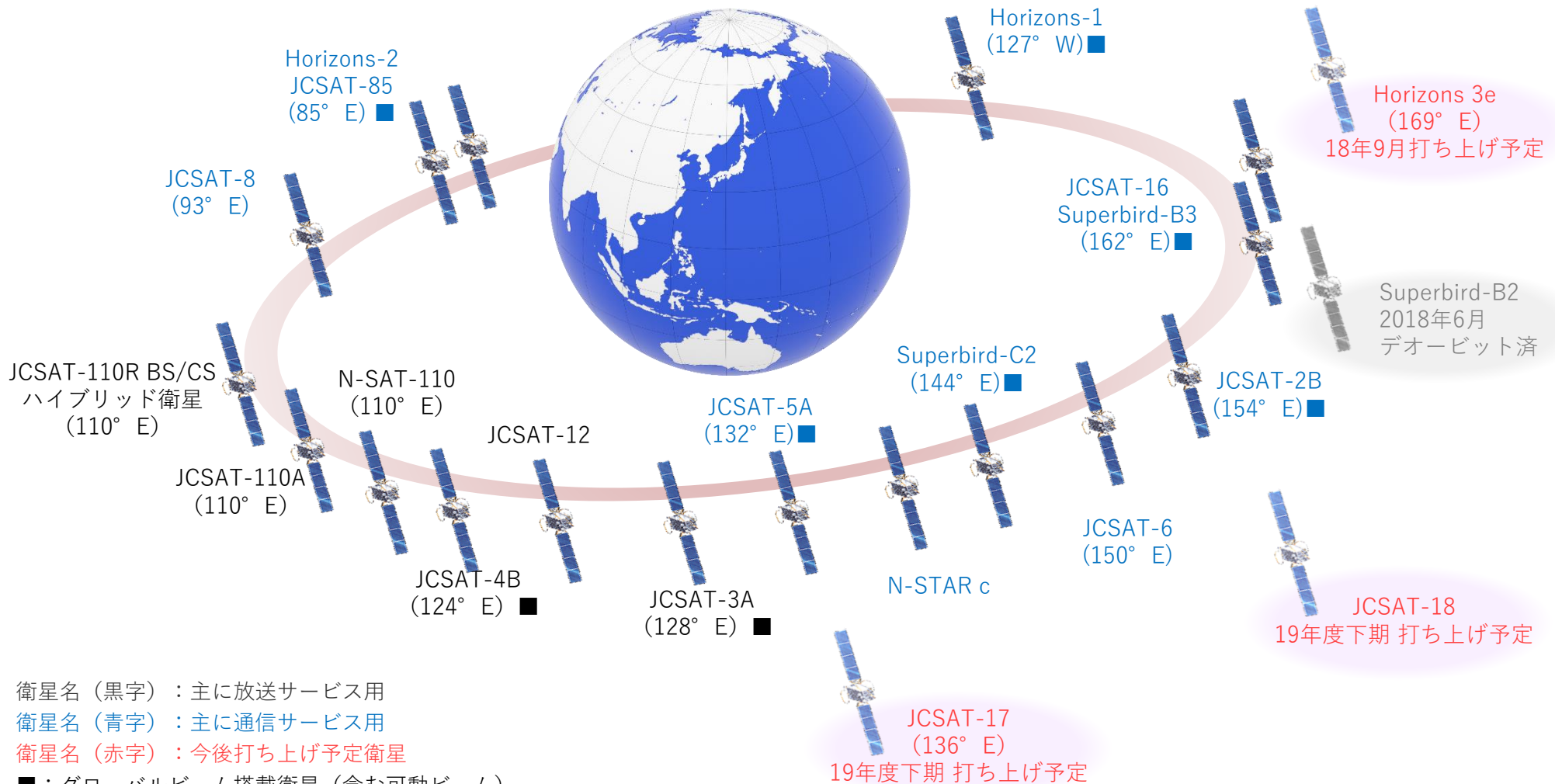
打ち上げ予定衛星一覧



	Horizons 3e (HTS衛星)	JCSAT-17	JCSAT-18 (HTS衛星)
衛星バス	702MP	A2100	702MP
製造メーカー	Boeing	Lockheed Martin	Boeing
ロケット	Ariane5	Ariane5	Falcon9
打上時期	2018年9月 予定	2019年度下期 予定	2019年度下期 予定
軌道位置	東経169度	東経136度	TBD
衛星寿命	15年以上	15年以上	15年以上
目的	海外・モバイル (Intelsat共同衛星)	国内通信提供	海外・モバイル (Kacific社共同衛星)

© 2017-2018 Boeing All Rights Reserved

北米上空からインド洋上空まで計17機の衛星を保有



衛星名 (黒字) : 主に放送サービス用

衛星名 (青字) : 主に通信サービス用

衛星名 (赤字) : 今後打ち上げ予定衛星

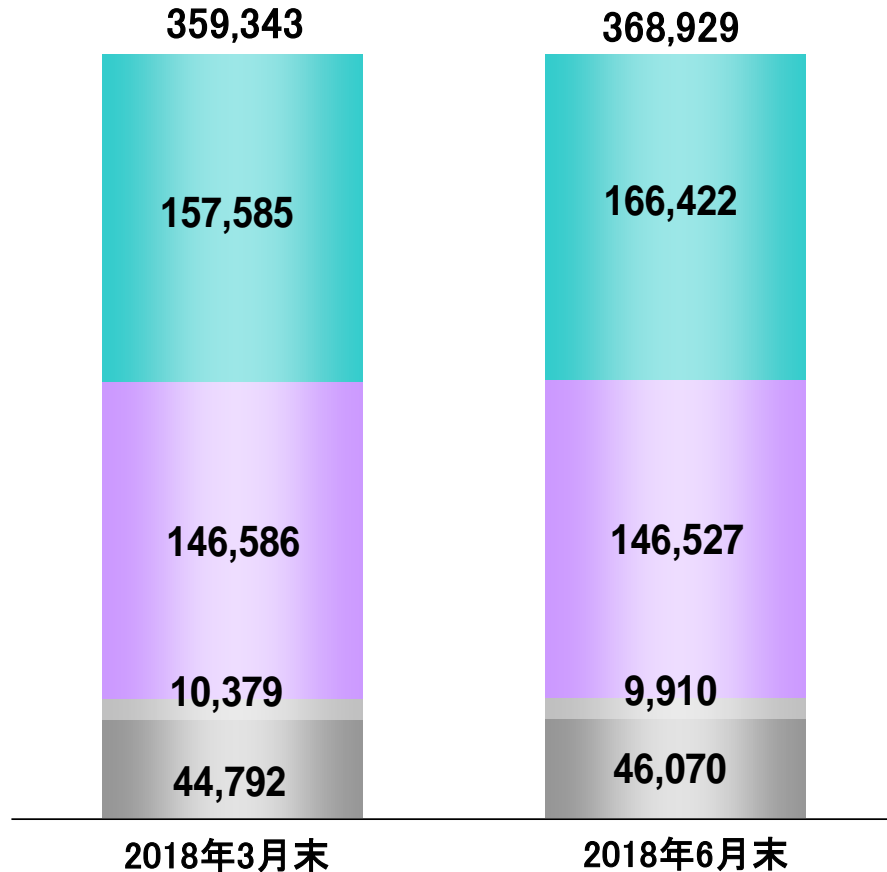
■ : グローバルビーム搭載衛星 (含む可動ビーム)

(参考資料)

連結貸借対照表

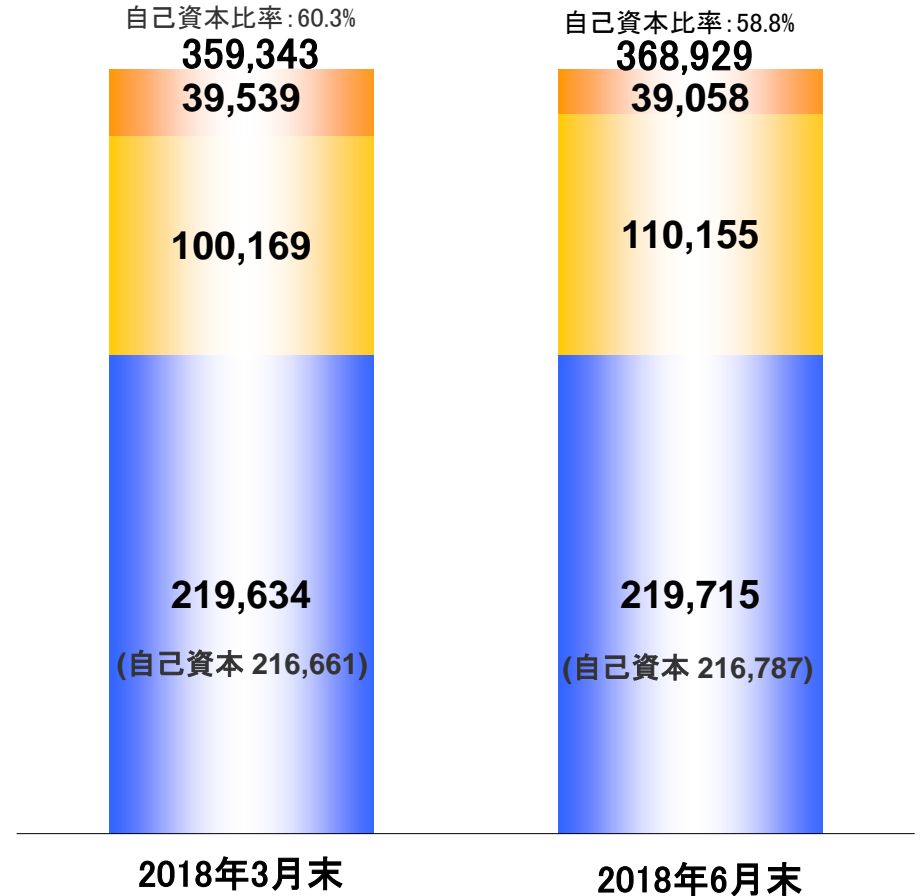
資産

(単位:百万円)



負債・純資産

(単位:百万円)



■ 流動資産
 ■ 有形固定資産
 ■ 無形固定資産
 ■ 投資その他資産
 ■ 流動負債
 ■ 固定負債
 ■ 純資産

*2018年度より『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等を適用し、「繰延税金資産」を投資その他の資産に、「繰延税金負債」を固定負債に区分表示しております。自己資本は純資産から少数株主持分を控除して計算しております。

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

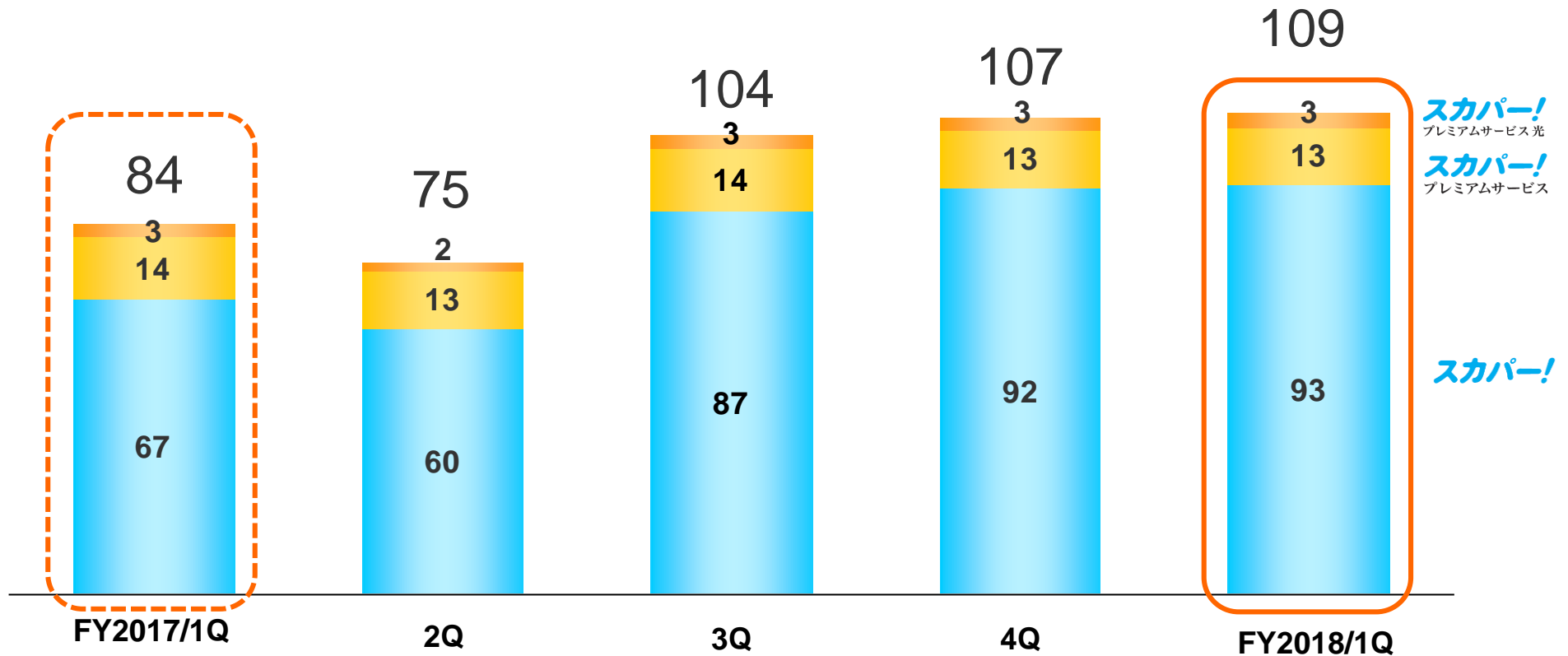
	2017年度1Q 累計	2018年度1Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,892	7,877
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,845	△10,139
フリー・キャッシュフロー (*1)	7,046	△2,261
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,966	9,076
現金及び現金同等物の期末残高(a)	57,118	53,072
有利子負債期末残高 (*2) (b)	89,649	104,841
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	32,530	51,768

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

*2. 借入金＋無担保社債

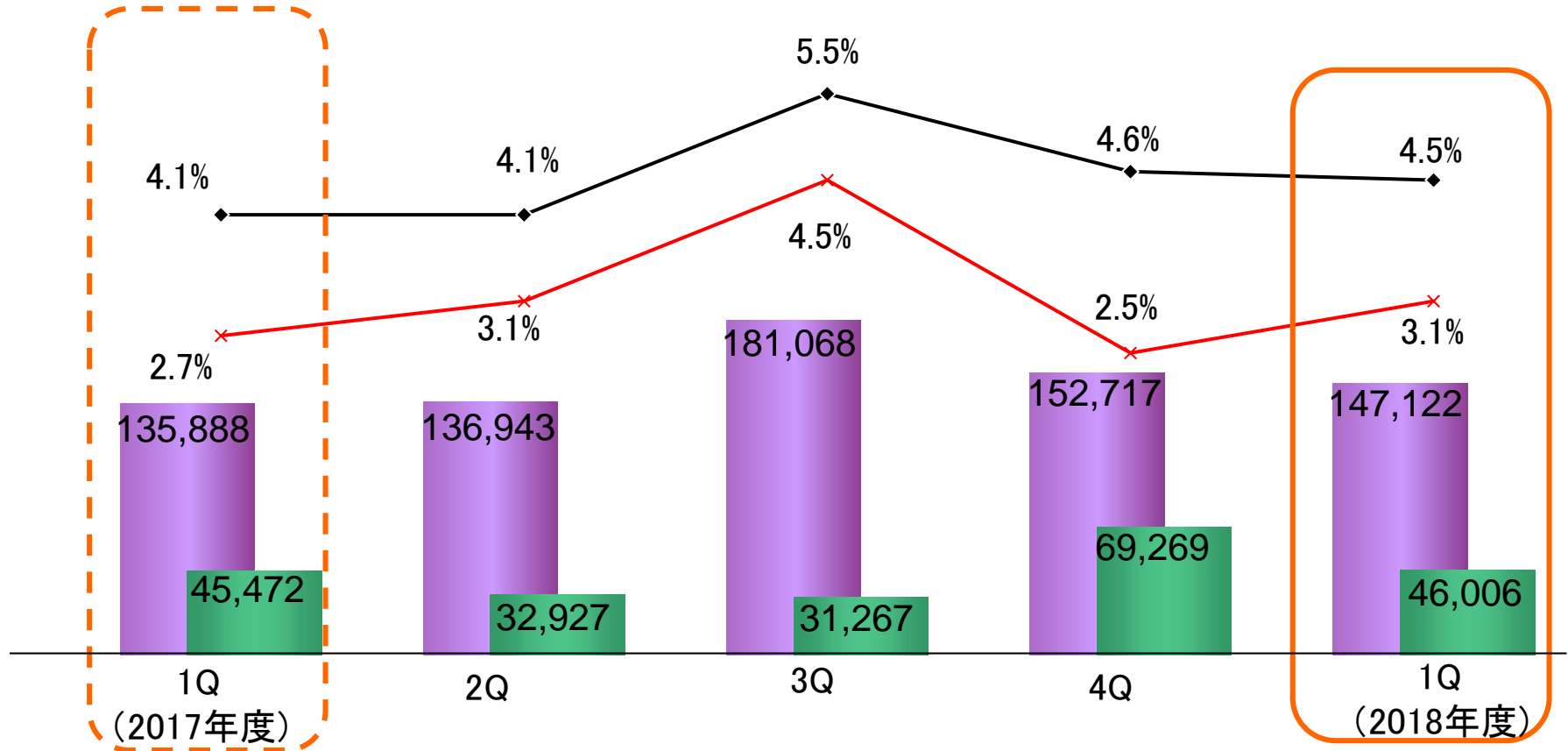
新規加入件数の推移

(単位:千件)



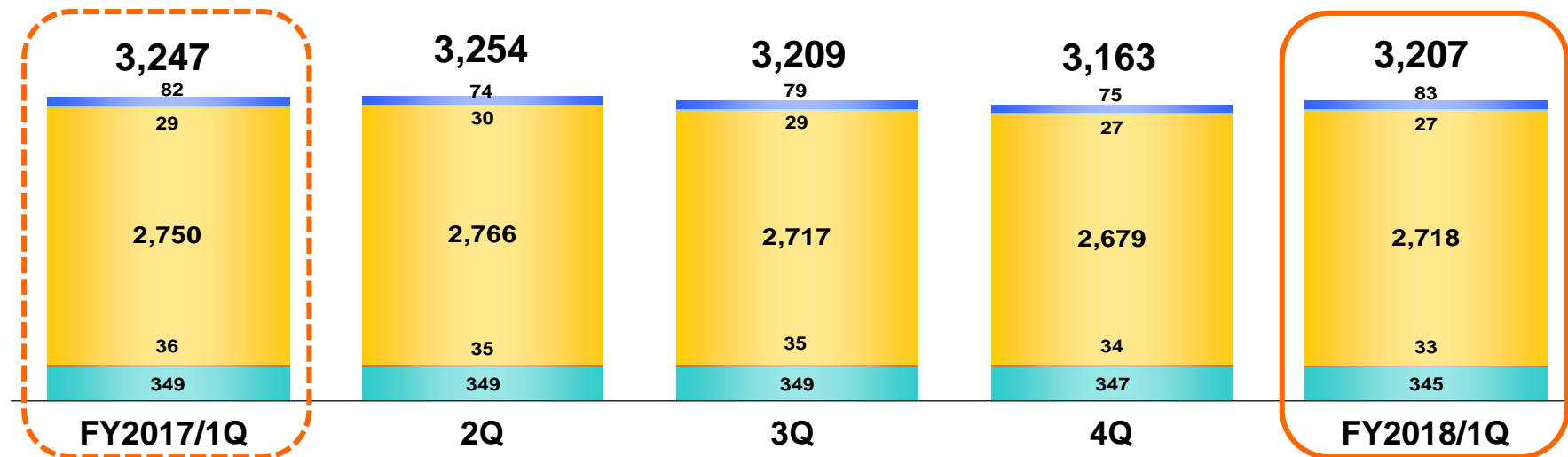
解約率の推移

—◆— 解約率(四半期毎)
—×— 再加入件数控除後の解約率
■ 解約件数
■ 再加入件数
 注:すべてスカパー！合計

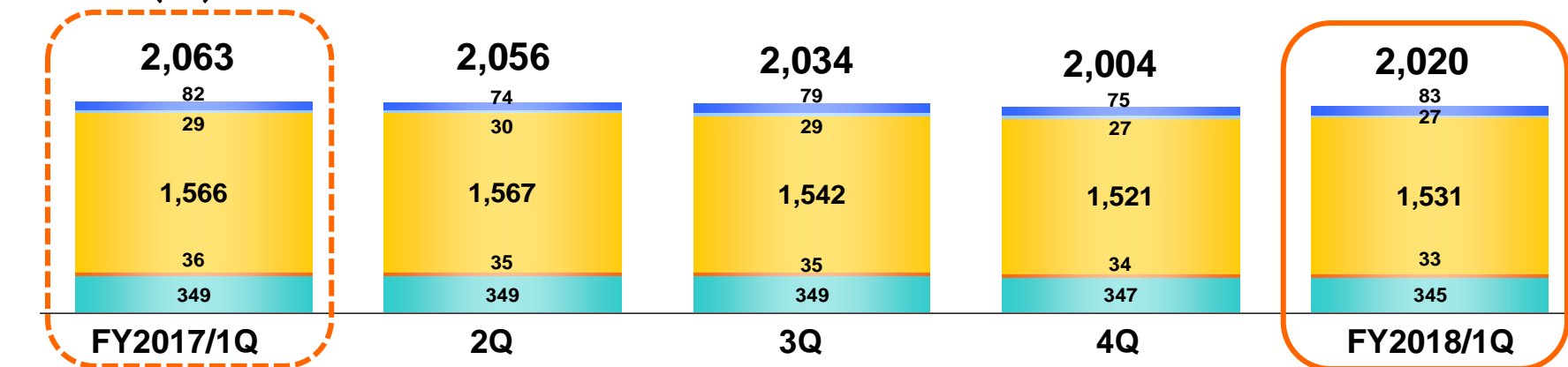


各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)



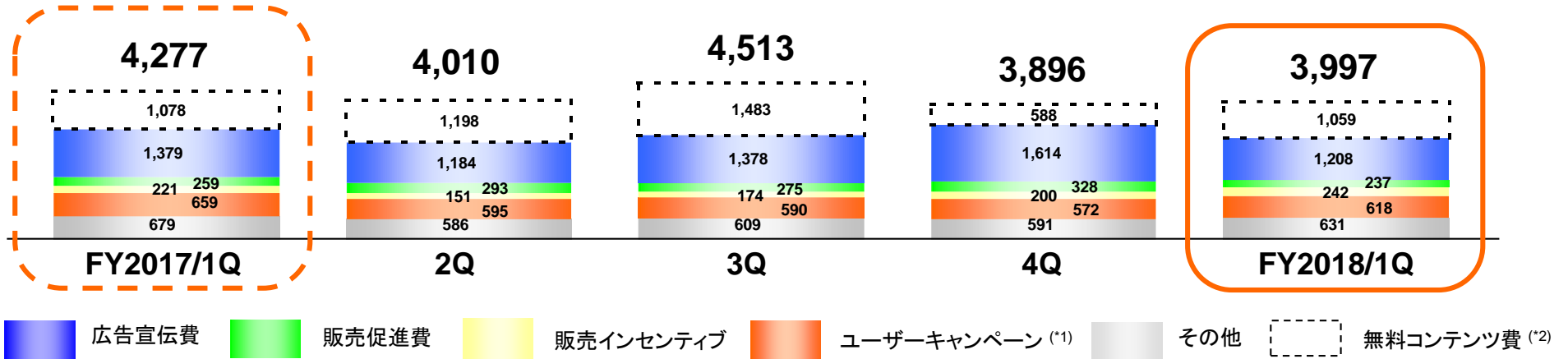
■ 基本料/件
 ■ レンタル会費/件
 ■ フラット視聴料/件
 ■ PPV視聴料/件
 ■ 自主コンテンツ収入/件

*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

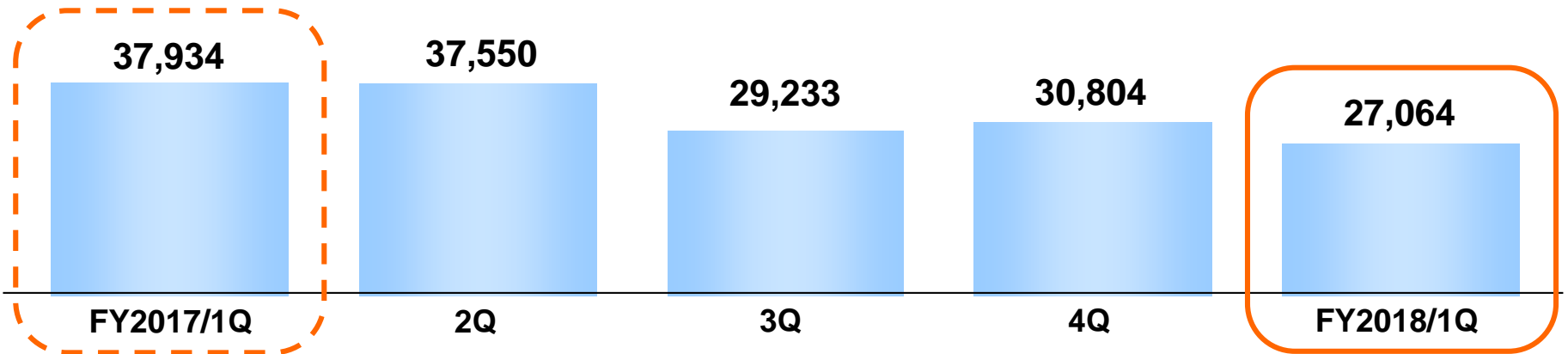
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用

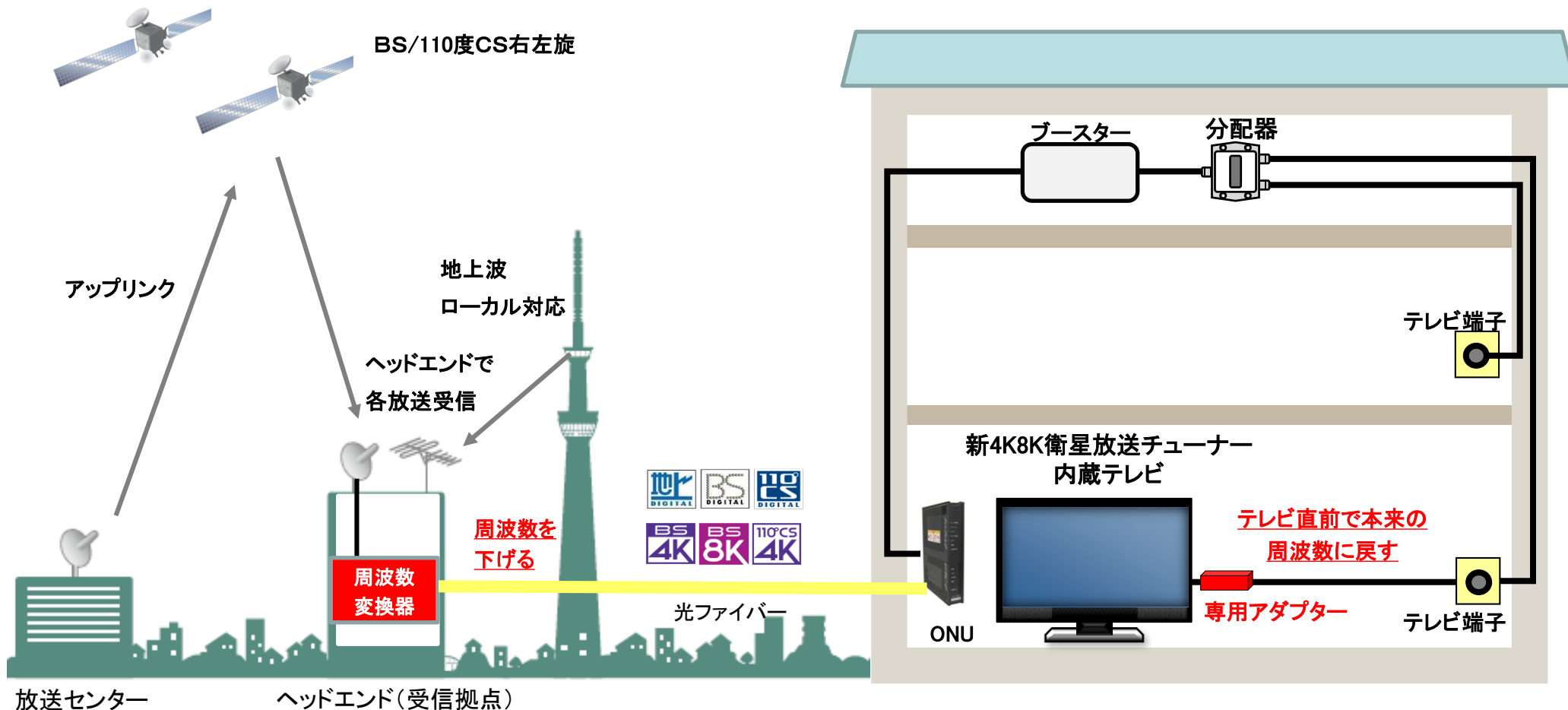
*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。

*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

新たな取り組み① 参考資料

光回線を使ったテレビサービスによる新4K8K衛星放送の提供について

【サービス提供イメージ】



本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス

広報・IR部

TEL:03-5571-1515

FAX:03-5571-1760

E-Mail:ir@skyperfectjsat.co.jp